

## 【資料 2】 松江市ガス事業の今後の課題

松江市のガス事業はこれまで内的要因である人口減少社会の中で、収益面では営業活動による増収、費用面では固定費を中心とした効率化により収支の確保に努めてまいりました。

また、外的要因として、市民のライフスタイルの変化等に伴い普及率が低下してきたのも事実です。加えてガスの小売り自由化によるエネルギー改革が行われ、今後、厳しい経営環境が予想されます。

本市におけるエネルギーシェアの現状は、都市ガスが 3 割、L P ガスを含むその他のエネルギーが 7 割を占めています。さらには、今後、県外資本の進出も予測される中、本市の役割は都市ガスのみならず松江市全体のガス事業を安定継続的に提供することが責務だと思っています。従って現在の公営企業という経営形態を前提とした経営改革だけでは、今後も同様のサービスを継続することは厳しいと思われます。このような内的・外的要因及び環境変化の中、以下の課題を検討していく必要があると考えます。

### (1) ガスエネルギーの集約化

他地域ですでに起きている県外資本の進出は近い将来、松江市においても予想されるため、太刀打ちできる体制づくりが重要となってくると考えられます。全国的には、総合エネルギー企業が創出され、松江市においてはエネルギーの地域内循環に寄与する都市ガスやL P ガスなどガスエネルギーの集約化が選択肢の一つであると考えられます。

### (2) 地域内経済の活性化

松江市が推進している宍道湖・中海圏域のまちづくりとの連動、廃熱・地熱など再生可能エネルギーとの連携によるガスエネルギーの地産地消が雇用の創出などに繋がる必要があります。そのためには地域内経済の活性化により、持続可能性のあるエネルギーの地域内循環が求められています。

### (3) 安全安心の確保と連携

近年の大規模災害が頻発する中で、都市ガスのみならず、関連するL P ガスや電気との連携など安定したエネルギー供給を確保し、住民に安心感を与える体制づくりの検討が必要であると考えます。